

● 幹事報告 杉山直幹事

幹事報告をご覧ください。

- 24日の例会はオンライン例会で、年内最後になります。
- 年明けは、1月7日に12:30より銀座アスター、14日はリリア11F大会議室で行います。
- 7日と14日は、クラブフォーラムです。

● 出席報告 財津雅一委員

本日分 12月17日  
 会員数 99名  
 出席 51名  
 Zoom参加 名  
 MAKE-UP 5名  
 出席率 59.57%



● 本日の行事  
 ● 会員誕生祝



増井千恵子会長、秋月信輝会員

● 感謝状贈呈



朝日恵子会員へ米山記念奨学会より感謝状が贈呈されました。

米山寄付をお願い致します！



● ニコニコ資金報告 榎本英昭委員

前日までの累計 604,100円  
 本日の計(27件) 31,000円  
 本日までの累計 635,100円



田中徳兵衛、徳尚グローバル補助金奨学生 上田理誉様、本日は卓話ありがとうございました。水野正男様、水野様。上田様ようこそ。田中様ようこそ。増井千恵子会長、上田様、ようこそ川口ロータリークラブへ。本日卓話よろしくお祈いします。杉山直幹事、上田さん楽しみにしています。田中徳兵衛会員、上田さん、楽しみにしています。中野真理会員、上田さん、本日卓話よろしくお祈いします。白井靖会員、本日の卓話よろしくお祈いします。佐藤進会員、卓話よろしくお祈いします。柳澤昭子会員、卓話よろしくお祈いします。渡辺成子会員、卓話楽しみにしております。榎本英昭会員、同様の趣旨で 佐藤龍会員、下館貴子会員、増井真也会員

(ゲストに)  
 田中育子様、水野正男様、川口RCへようこそ。

田中徳兵衛会員、田中さん、今日はよろしくお祈いします。岡村睦美会員、水野様ようこそ。白井靖会員、田中様、水野様ようこそお越し下さいました。小倉克徳会員、水野正男様、よろしく。田中育子様、お祈いします。

丸山恵美子会員、”上田奨学生、頑張ってください。原田さんカウンセラーご苦労様です。水野正男さん、お疲れ様です” 木内賢治会員

(その他)  
 記念祝いの皆様おめでとうございます。田中徳兵衛会員、皆様コロナ大丈夫ですか。小川長四郎会員、一昨日浦和年金事務所に行ってきました。厚生年金部分の受取が63歳になりましたので、もらえることになりました。早船雅文会員、皆様にお会いできる日も最後になりました。来年も生き抜きましょう。よろしくお祈いします。森絹子会員、毎日引越し荷物の整理で体がぼろぼろ。早く前の私に戻りたいです。朝日恵子会員、メリークリスマス！永瀬秀樹会員、”急な話ですが、12月26日夕方、FM川口の僕の番組に市長が生出演することになりました。今回はコロナなので生歌はないかと。ぜひ聞いてください。生放送です。篠田元一会員、会員誕生祝いありがとうございます。秋月信輝会員

卓 話

● 上田理誉様 (田中徳兵衛冠名奨学生)



自己紹介

- 兵庫県丹波市出身
- 鳥取大学医学部卒業
- 小児神経科医
- 発達障害やてんかん、脳性麻痺など小児の発達に関わる病気の研究
- 現在の所属：国立精神・医療研究センター 精神保健研究所の発達障害研究部 - 発達障害に関する調査研究、- 発達障害の子どもの脳波やMRIを用い、患者の脳機能と行動異常の関連を研究。



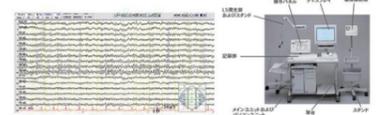
Wayne State University への留学

- アメリカ合衆国ミシガン州デトロイト
- 小児科・神経内科の研究室
- 脳波を用いた神経生理学的研究が盛ん。



脳波とは

- 1929年、ドイツの精神科医ハンス・ベルガーによってヒトの脳波が初めて報告された。
- 1951年に日本で初めて脳波計が販売され、次第に、国内でも診療や研究での使用されるようになる。
- 脳の神経細胞から生じる電気活動を観察する。
- 脳波の計測(電極を置く)部位は、頭皮上、頭蓋内、脳深部などがある。



脳波検査の目的

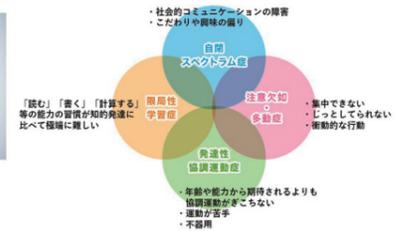
- 診療
  - てんかん診療の診断や治療評価。
  - 脳の機能(全体的な働き)の評価。
- 研究
  1. 脳科学研究の目的
    - 見る、聴く、話すなどの認知活動の際の脳機能の定量化
  2. 現在の脳科学研究の進歩
    - 脳全体を一つのネットワークとして脳機能を解明。
    - 脳波から、数理計算により、ネットワークが導き出さず。
    - 健康な人の脳は効率の良いネットワークを持つが、病気の人の脳はネットワークの異常を持ち、症状がもたらされる。

Wayne State University の研究

- 見る、聞く、話す、感じるなどの人の感覚や行動の際に正常な脳はどのように働いているか
- 脳内情報伝達経路の可視化
- てんかんの病巣の同定のため、神経生理学的手法の開発
- てんかん外科治療の発展



発達障害とは



自閉スペクトラム症の症状



自閉スペクトラム症の特徴

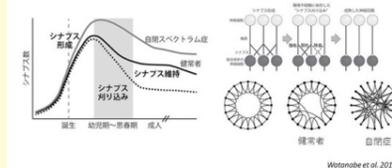
- 男の子に多い
- 20人から50人に1人くらいの割合で見られる
- 遺伝的要因の関与が示唆される
- 脳の機能異常が原因と考えられる
- 親の育て方の問題で発症するわけではない
- 注意欠如・多動症、発達性協調運動症、限局性学習症などの発達障害がしばしば併存する
- とくに思春期以降に2次障害として、不安症、抑うつ障害を併存しやすい

自閉スペクトラム症診療の問題点

- 自閉スペクトラム症の対人関係障害を改善する治療薬がない。
- かんしゃく、他者への攻撃性、自傷、気分の変動しやすさに対し、抗精神病薬が処方される。
- 問題行動や情緒面の問題の精神病理学的背景は明確ではなく、環境にも影響を受けることから、客観的評価が難しい。
- (治療の客観的指標が乏しい。)

自閉スペクトラム症に関する脳波研究

- 安静時脳波：長距離連結性の低下、局所連結性の増加あり。
- 長距離の連結性の低下は、神経線維の劣化から生じる
- 局所の過剰連結性は、神経シナプス刈り込みの減少に起因する



自閉スペクトラム症の診断バイオマーカー作成の試み

- <目的>
  - 自閉スペクトラム症に特徴的徴候の際の脳内活動を解明する。
- <方法>
  - 課題1、2の課題試行時の脳波施行。
- <検討事項>
  - 課題1：視線が合うとき、合わないときの脳内活動の変化。
  - 課題2：意味通り課題と皮肉課題のときの脳内活動の変化。
  - 自閉スペクトラム症の重症度と脳内活動の関連を検討する

